

向山通信

特別号

令和7年2月10日



向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ○よく考える子

令和6年度 練馬区立向山小学校 学校評価アンケート結果のお知らせ

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。今年度の調査は令和6年11月1日（金）から22日（金）の間に行い、304名の保護者から回答をいただきました。集計結果をお知らせいたします。なお、児童にも同様の質問を行ったものに関しては、比較のために載せています。

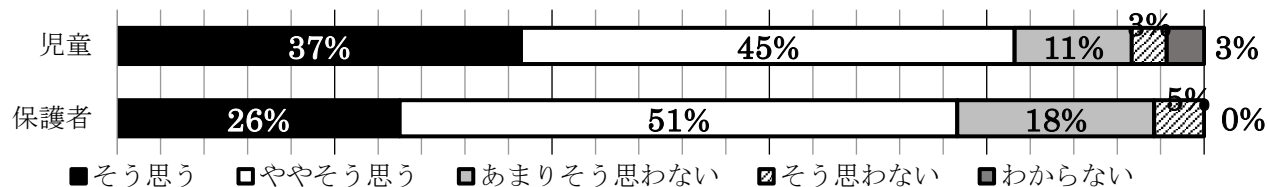
※各設問は、児童向けの質問、保護者向けの質問の順に掲載しております。また、回答の割合の数値が四捨五入してグラフに反映させているため合計が必ずしも100%にならない項目もあります。ご了承ください。

質問1 (児 童) 学校生活は楽しい。
(保護者) 子供は、楽しく学校に通っている。



質問1では、9割の児童が「学校が楽しい」と答えています。また、93%の保護者の皆様から肯定的なお返事をいただくことができました。コロナ禍を経て、運動会や展覧会等の学校行事を始め、子供たちのできることを最大限実施できるようにしてきた結果であると考えます。これからも児童や保護者が「学校が楽しい」と思えるような教育活動を行うようにしていきます。

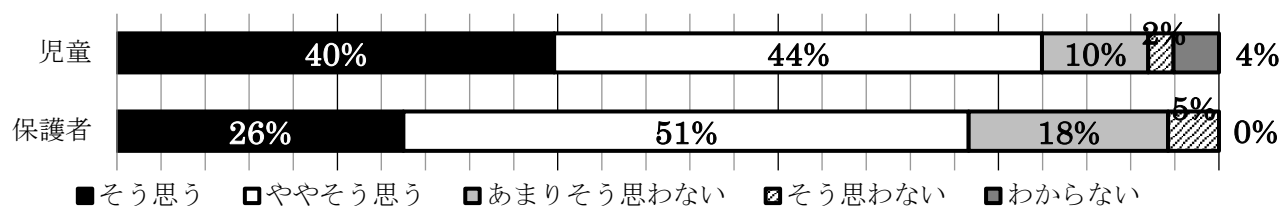
質問2 (児 童) 学校や地域で自分からあいさつしている。
(保護者) 子供は、地域や家庭で自分からあいさつをしている。



質問2の「あいさつ」は、「自分からあいさつしている」と答えている児童が昨年度の85%から3p t下がって82%になりました。一方で、保護者の肯定的な評価は昨年度と変わらず77%でした。

学校の中では全学年を通して自分からすすんであいさつできる児童と、教職員からあいさつしても返って来ない児童との二極化が見られます。学校では引き続き、あいさつの大切さを子供たちが心から感じられるよう、毎月のあいさつ目標の設定や朝のあいさつ運動の実施、道徳の授業等を通して取り組んでいきます。ご家庭でも、まずは身近な大人が手本を示しながら、家庭や地域でのあいさつの大切さを繰り返し伝えていただけますよう、引き続きよろしくお願いいたします。

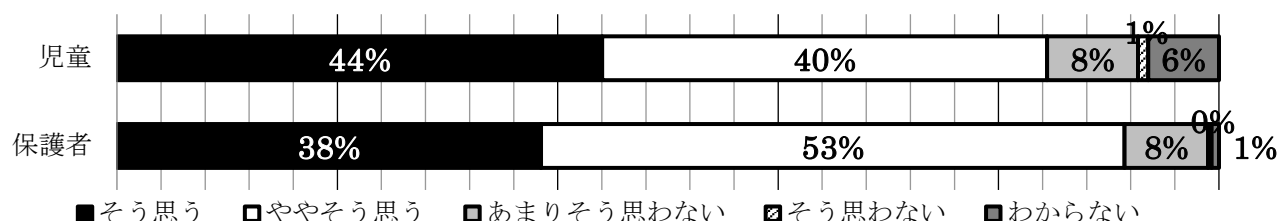
質問3 (児 童) 学校のきまりを守って生活している。
 (保護者) 子供は、地域や家庭できまりを守って生活している。



質問3の「きまりを守ること」は、肯定的な回答は児童が昨年度より1 p t 上がって84%でしたが、保護者の皆様は昨年度の94%から大きく下がってしまい77%でした。

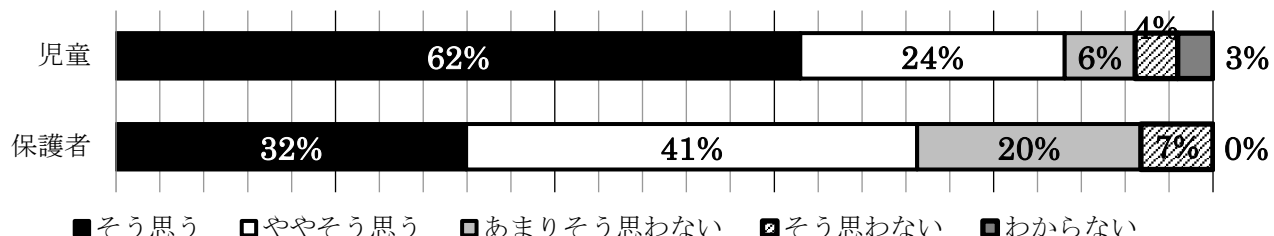
「きまりを守ること」は社会のルールを守る態度につながります。今後も「向山スタンダード」等を活用しながら、きまりのもつ意味を一つ一つ分かりやすく伝えて行けるよう努力してまいります。ご家庭におかれましても、子供たちがきまりを守って安心・安全に生活できますよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

質問4 (児 童) 誰に対しても思いやりの心をもって接している。
 (保護者) 子供は、誰に対しても思いやりの心をもって接している。



質問4の「思いやり」は、向山小の学校教育目標の一つでもあります。児童が昨年度から1 p t 下がったものの84%、保護者の皆様からは肯定的な評価を91%いただきました。向山小の温かく穏やかな校風とのつながりが感じられます。学校内に限らず、日常生活の様々な場面で、子供たちが思いやりの心をもって行動できたときに、周りの大人がそれを見逃さずに褒め、価値付けてあげることで、思いやりの心は更に育まれていくと考えます。これからも、温かな見守りや声掛けを続けてくださいますよう、お願いいたします。

質問5 (児 童) 宿題や家庭学習を毎日している。
 (保護者) 子供は、家庭学習をする習慣が身付いている。

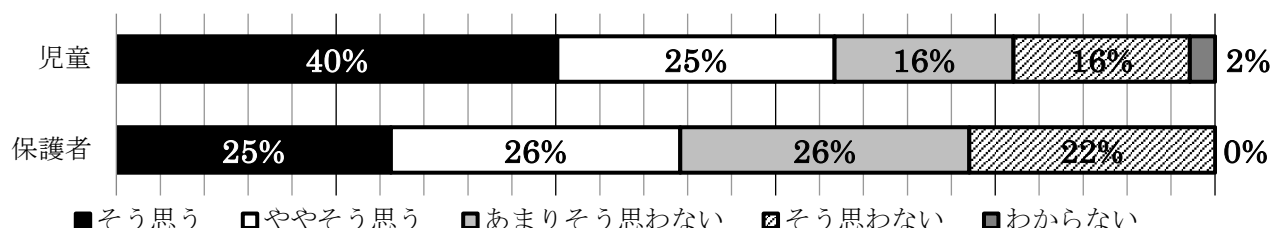


児童の86%が家庭学習に取り組んでいると回答したのに対し、保護者は73%と10 p t 以上の差が見られました。漢字ドリル、計算ドリルや自主学習だけでなく、児童は宿題や家庭学習をタブレット端末で行う機会が増え、保護者の皆様からは見えにくい部分もあったと考えられます。

一方で、学年にかかわらず、大きな個人差が生じています。音読や漢字、計算など習熟の必要な学習については家庭学習での反復が有効です。向山小では家庭学習時間の目標を「10分×学年」と設定しています。

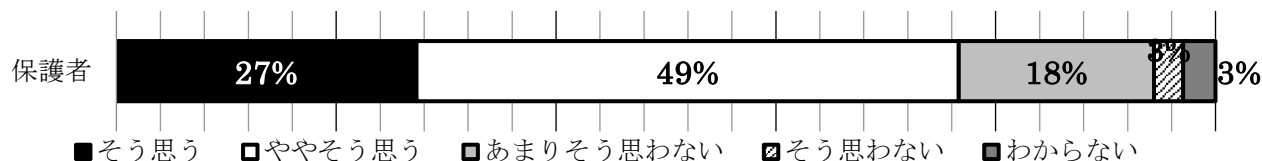
(4年生ならば、10分×4＝40分) 今後とも、宿題や家庭での自主学習の習慣が身に付くよう取組内容の提示や共有等を図ってまいります。ご家庭でも見守りや声掛けをよろしくお願いいたします。

質問6 (児 童) 家庭で読書をしている。
(保護者) 子供は、家庭で読書をしている。



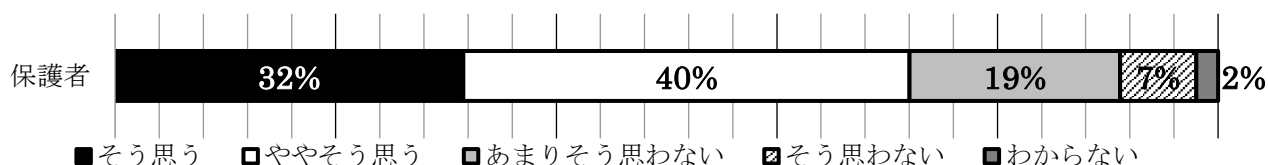
本項目の肯定的な評価は昨年度比で保護者は5 p t 減少の51%、児童は1 p t 減少の65%になり、年々読書をする子が減っていると考えられます。また、個人によって読書量にかなりの開きがあることは例年の課題です。学校では年間2回の読書週間の実施、校長や学校図書館管理員、図書委員会児童による読み聞かせやブックトーク等を積極的に行い、児童の読書への関心を少しずつ高める努力をしているところです。来年度も学校では読書の魅力を伝える活動を更に積極的に行っていきます。放課後や土曜・日曜・祝祭日等の学校図書館開放等も是非積極的に活用するよう、ご家庭でもお声掛けください。

質問7 (保護者) 子供は、学力が向上している。



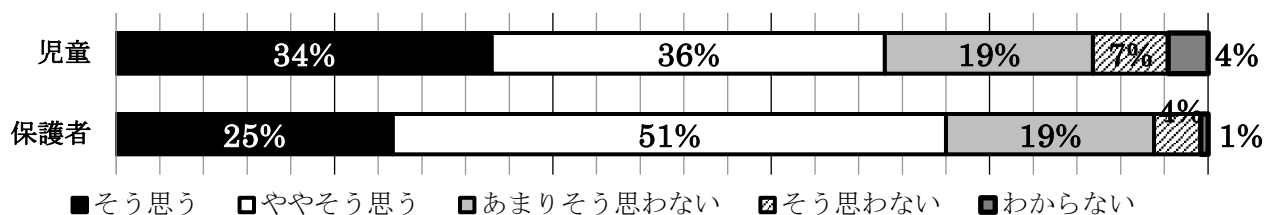
保護者の皆様の肯定的な評価は昨年度と同じ76%でした。本校では、1・2年生の算数に学力向上支援講師がT.Tで入り、3年生以上の算数は、学年を習熟度別のクラスに分けて指導しています。また、3年生以上の理科は専科教員や時間講師が入り、2人体制で指導をしています。放課後の自主学習室(向山スタディールーム)では、地域のサポートも取り入れながら、自学自習の習慣の確立を目指しているところです。さらに今年度は、校内研究で「主体的な学び手が生まれる単元・授業づくり」に取り組んでおります。主体的な学びの姿勢が学力につながっていきますよう今後も努めてまいります。

質問8 (保護者) 子供は、体力が向上している。



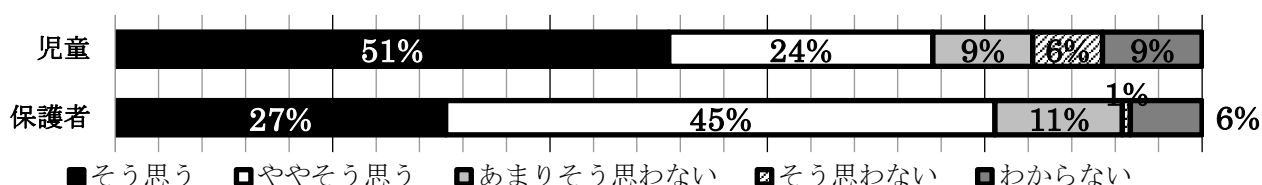
昨年度は69%の保護者から肯定的な回答をいただいていたのですが、今年は3 p t 上がって72%になりました。校舎改築に伴い校庭が使えなくなりましたが、それに替わる活動の場を確保し、子供たちが楽しみながらすすんで運動に親しめるようにしていきたいと考えております。学校教育活動外でも、放課後のねりっこひろばや校庭開放の場(11月からは体育館で実施)もあります。積極的な利用に向けてご家庭でも是非お声掛けください。

質問 9 (児 童) 授業では自分の思いや考えを伝えている。
 (保護者) 子供は、自分の思いや考えを伝えることができる。



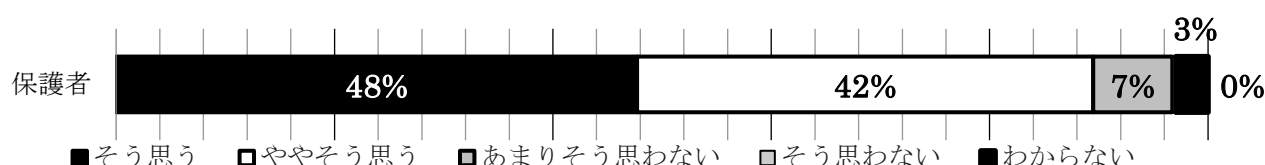
この項目は、昨年度と比較すると肯定的な回答は、保護者は74%から76%へと微増しましたが、児童は72%から70%に2 p t 減り、依然として向山小の児童の課題である内容です。発言・発表に対して苦手意識をもつ児童が、かなりの割合でいると考えています。今後も引き続き自分の考えをもち、すすんで表現する子の育成に取り組み、子供たち自身が思いや考えを「伝えたい」と思えるような、学習指導の工夫・改善に努めてまいります。また、学校公開では、考えを発表し合うような授業を見ていただく機会を増やすなど、自信をもつことができる場をつくっていきます。

質問 10 (児童) 学校の中に困ったときに相談できる先生がいる。
 (保護者) 学校は子供や保護者が相談しやすい雰囲気や機会を作っている。



本項目は今年度から児童の評価も調査することにしました。児童からの肯定的な回答は75%でした。保護者の皆様からの肯定的な回答は昨年度の81%から72%へと9 p t 減少しました。また、15%の児童と16%の保護者が「相談しやすい雰囲気や機会を作られていない」と感じている事実もしっかりと受け止めてまいります。困ったときに誰かとつながり、誰かに話せるということは、とても大切なことです。日常的な相談先として、担任だけでなく、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員等との相談を活用している児童や保護者もいます。また、練馬区の小学校ではスクールカウンセラーによる5年生対象の全員面談及び、心のふれあい相談員による3年生対象の全員面談を実施しています。どの学年の児童にとっても保護者の皆様にとっても更に相談しやすい体制づくりに努めてまいります。

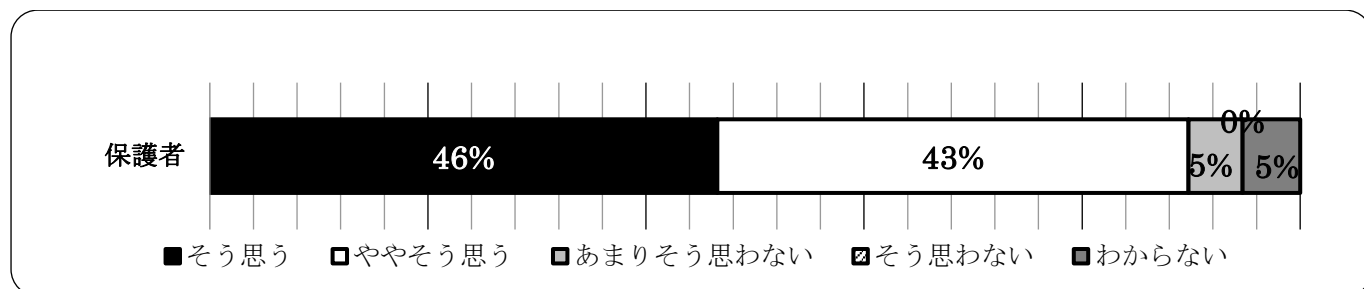
質問 11 (保護者) 学校は、学校での子供たちの様子を分かりやすく伝えている。
 ※向山通信(オンラインも含む)、ホームページ、学校公開等



保護者の皆様からの肯定的な回答は昨年度と同様に9割でした。今年度は、学校公開の回数を全区で年4回に減らしましたが、保護者の記述アンケートからは、それ以外の様々なツールでも学校の情報を得ていただけたことが分かります。校長による月曜日の保護者向け向山通信オンラインにつきましては、ご視聴くださっている保護者の皆様からは大変ご好評いただいておりますが、今年度は実施回数が減ってし

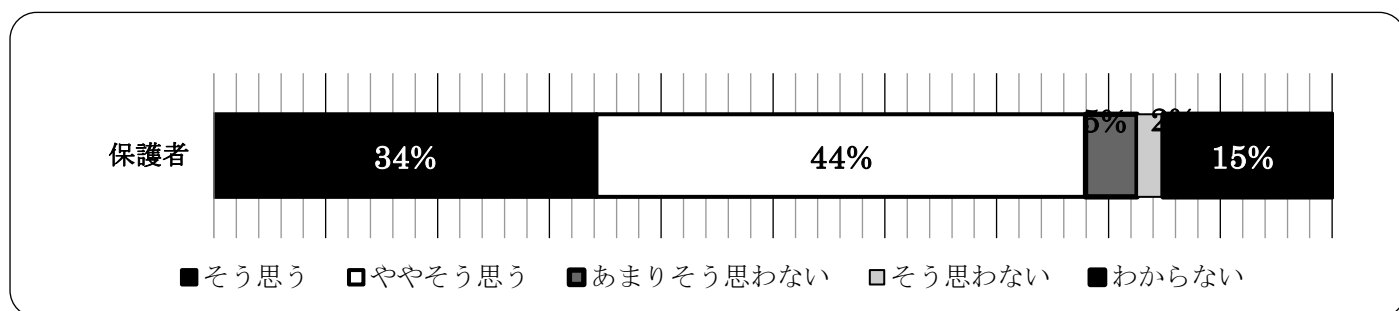
まい、申し訳ありません。ホームページでは、今年度1月末で昨年度の約320件を大きく上回る400件以上の記事を紹介し、学校からの情報発信ツールとして根付いてきているところです。今後、更に多くの保護者の皆様にご覧いただけますよう、見やすく魅力ある情報発信を目指して努めてまいります。

質問12 (保護者) 学校は、子供の安全・安心の確保に努めている。



昨年度と比較すると、肯定的な回答は90%から89%へと1 p t 減少しました。本校は施設の構造上、複数の出入口がありますが、全ての教室に扉の鍵を設置し、児童の登下校の時間以外は東門を施錠、通用門についても常に閉めた状態にすることも徹底しております。また、常時、正門・東門を含め複数の防犯カメラが作動しております。自由記述でご指摘いただいていることも含め、今後も改善に努めてまいります。

質問13 (保護者) 学校は、校内で起こった諸問題について迅速・適切に対応している。



肯定的な評価は昨年度の74%から78%へと4 p t 増加しました。保護者の皆様の困り事や相談事等に組織的に真摯に対応するよう努めてまいりました。どのような問題であっても、できるだけ早く発見し、迅速に対応していくことが大切です。些細なことであっても、気になること等がありましたら、どうぞ遠慮なく学校にお知らせください。今後も、更に迅速な対応と早期解決に努めてまいります。

学校評価へのご協力ありがとうございました。この結果を、教育活動改善のための貴重な資料とさせていただきます。